

※本学図書館で所蔵している本は書名に赤線を引いています。資料ID番号で検索すると利用状況がわかります。

## 【文学部 文学科】

### 1 -----

- (1) 書名 地球にちりばめられて (講談社文庫:[た 74-5])
- (2) 著者名 多和田葉子
- (3) 出版社名 講談社
- (4) 配架場所 5F 開架ポピュラーライブラリー
- (5) 請求記号 BK (資料ID 14003240)
- (6) 推薦コメント

今年の夏は世界文学の最前線にチャレンジしよう。といっても、抜群に面白いから、ご安心を。ヨーロッパ留学中に故郷の島国が消滅してしまったHirukoという女性が主人公。同じ母語を話す人を求める彼女のもとには、さまざまな人々が加わってくる。それはすなわち、自由を求める魂の旅なのだ。

### 2 -----

- (1) 書名 江戸川の世界史
- (2) 著者名 松戸市立博物館[編]
- (3) 出版社名 同成社
- (4) 配架場所 6F 開架閲覧室
- (5) 請求記号 213/E24 (資料ID 14003487)
- (6) 推薦コメント

松戸市制施行 60 周年と松戸市立博物館開館 10 周年を記念して開かれた特別展「川の道 江戸川」をもとに、松戸市にゆかりの深い江戸川とそれを取り巻くさまざまな相貌を考古学・歴史学・民俗学の各分野から検討を加えた講演集です。聖徳大学の位置する松戸市周辺の歴史・文化について理解を深めるための入門書として最適です。

### 3 -----

- (1) 書名 刑務所図書館の人びと：ハーバードを出て司書になった男

### の日記

- (2) 著者名 アヴィ・スタインバーグ[著]/金原瑞人, 野沢佳織[訳]
- (3) 出版社名 柏書房
- (4) 配架場所 7F 開架閲覧室
- (5) 請求記号 936/St3 (資料 ID 13135134)
- (6) 推薦コメント

「受刑者の中で、一番司書に向いているのが風俗の男」。衝撃的な一文で始まる本書は、ボストンの刑務所図書館で司書をしていた青年(名門ハーバード大卒)の実体験を元にして書かれています。銀行強盗、殺人、詐欺、銃器密売……。さまざまな「経歴」を持つ利用者。そんな少し(?)特殊な図書館で起きる事件やエピソードは、なるほど、図書館サービスの本質を突いていて、読み終わる頃には冒頭の言葉の意味が理解できると思います。

#### 4

---

- (1) 書名 ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー
- (2) 著者名 ブレイディみかこ
- (3) 出版社名 新潮社
- (4) 配架場所 6F 開架閲覧室
- (5) 請求記号 376.333/B71 (資料 ID 04485599)
- (6) 推薦コメント

本屋大賞 2019 ノンフィクション本大賞受賞作。人種もいろいろ、貧富の差もある荒れた?楽しそう?な中学校に通う男の子の話。これからの社会をより良いものにするために、自分の心の中に差別や偏見がないかを問うために、ぜひ読んで欲しい。特に、教職に就きたいあなた、自分がこの学校の先生だったらどうするか、夏休みに考えてみて下さい。

#### 5

---

- (1) 書名 打たれ強くなるための読書術 (ちくま新書 ; 705)
- (2) 著者名 東郷雄二
- (3) 出版社名 筑摩書房
- (4) 配架場所 6F 開架閲覧室

(5) 請求記号 019/To23 (資料 ID 12840810)

(6) 推薦コメント

「知的に打たれ強い」というのはどういうことだろうか(中略)それはひと言で言うと、「正解のない世界に耐える」ということであり、ビター・チョコレートのように苦み走った大人の態度なのだ。(以上、本書「はじめに」より引用)

「大人の読書術」を身につけるための本です。大学で学ぶすべてのみなさんへこの本をお薦めします!